

北公民館

作るって楽しいな

～三世代交流しめ縄づくり～

12月14日（土）、北公民館で「三世代交流しめ縄づくり」が開催されました。

この行事は、伝統行事の伝承と世代を超えた交流を目的として毎年実施しています。

今年度も、幼児、小・中学生、保護者、女性の集いおかだ、老人クラブの方々など合計約100名の皆さんが参加され、大盛況でした。

まず初めに、しめ縄の意味や作り方について老人クラブの方から説明があり、それぞれ

れのグループに分かれて、作り始めました。

今年初めて参加した子ども、昨年も参加した子どもなど、不安そうな表情、得意気な表情などさまざまです。

指導してくれる老人クラブの方々の、手とり足とりの丁寧な指導もあって、みるみるうちに立派なしめ縄が完成していきます。

最初は不安そうだった表情も、いきいきとした表情に変わっていきのを見ると、指導

してくださった方々も満足感でいっぱいだったと思います。用意しておいた菓も2時間ほどであったという間になくなりました。

最後に女性の集いおかだの皆さんからおもしろいぜんざいが振る舞われました。ぜんざいをおかわりする子もいて、こちらも大盛況でした。

後片づけも全員で行い、一同大満足で、思い思いのしめ縄を持ち家路につきました。最後にになりましたが、準備運営にご協力くださいました方々に、この場をお借りしてお礼申し上げます。

ありがとうございます。



▲和気あいあい



しめ縄づくりの説明▶



▶熱心でいいいな指導



▲大盛況！

保育シリーズ

子どもたちと共に・・・

松前保育所保育士

林 香織

今、私は「保育士になってよかった」と心から思える日々を過ごしています。思えば小さいころ、担任の先生に憧れ「保育士になりたい」と心に決め、その念願がかない、無我夢中で突っ走ったけれど、思ったようにうまくいかないことばかり。私には向いていないのだろうかと思悩んだ1年目。子どもたちと一緒に泣いたり笑ったりと試行錯誤を繰り返して、気がつけば3年目。3歳児の担任をしています。身の回りのことが自分ひとり

でできるようになり、すべて自分中心に動いているような思いの子どもたち。友だちと遊ぶ中でもトラブルはありますが、成長するためのステップととらえ見守っています。

ある日、A君とB君がブロックで遊んでいた時のこと。B君がA君の持っているブロックが欲しくなり取り合いになってしまい、A君はキック、パンチをして泣きやまず、話をしようとしても、全く、聞くことが度々あり、思案の末、

母親に保育所での様子を話したところ、母親は、涙ながらに、子育ての疲れや不安な気持ちを話し始めました。話しているうちに表情もすっかり明るくなり、A君の気持ちを受け止め、ゆっくりかかわってあげることが大切だと確認し合いました。その後、A君は少しずつ自分の思いを言葉で伝えたり、友達の言葉にも耳を傾けることができるようになってきました。

子どもは、周りの人の接し方により、成長の仕方に変化があるということを強く感じさせられました。これからも保護者との連携を図り、子どもにとつて何が幸せかを考え、個々の気持ちをしっかり受け止め、保育していきたいと思っています。



▲これからも子どもたちの笑顔といっしょに